

文芸協だより

発行:海老名市文化芸術協会
会長:佐藤よし江
事務局:海老名市文化会館内
TEL:046-240-8870
題字:内野優市長

「海老名市文化芸術協会」が発足して3年間を経過しました。活動内容を会員、市民の方々にお知らせし、ご理解頂くため、そして活動記録として役立てるために、「文芸協だより」を発行することにしました。今年度は2回、次年度からは年1回の発行を予定しています。本号は3年間の活動の様子をお届けします。



三年間の活動の振り返りと今後

会長 佐藤よし江



「海老名で育まれた文化芸術が街中にあふれ、子供から大人までいつでもどこでもそれらに触れ合える心豊かな街海老名の実現」の理念のもと、令和4年に当協会は設立されました。海老名市の文化芸術の足跡を刻むべく数歩を歩み始め、三年を経て、ここに文芸協だよりの発刊を実現したことは喜ばしく、晴れやかな思いがあります。

とは言え、第一号は三年間の実績を一気にまとめたもので、会員の活動を詳細に、そして心行くまでの編纂とは言えませんが、役員組織の広報分科会のメンバーの熱意と団結の結集から創刊された記念すべき「文芸協だより」と誇らしい思いがございます。

今後はさらに海老名市の文化芸術の振興と向上、継承、そして生活に安らぎと潤いをもたらす役割と心得、発信して行くことを願うものです。

令和7年度 文芸協役員



みなさまのご期待に応えられるように、活動してまいります！

令和4～6年度の文化芸術祭

音楽

大ホールでのコンサート、若者向けの EMW、小ホールでのコンサート、ソロコンサート、120サロンでのコンサートと3会場で演奏会を開催してきました。参加者も年々増えて、令和6年度の参加者は団体 47、ソロ 27 組となりました。



邦舞

「音に合わせて体を動かす」ことは洋舞であれ、邦舞であれ老若男女を問わず「好むこと」であることを身近で実感しています。邦舞の曲に出会い、その振りに魅せられ、それにいそしむ会員は、日々研鑽し、文芸祭には全力で挑み、観客の感動を呼び覚ますのです。



洋舞

令和4～6年度の文化芸術祭

洋舞部門は様々な国のダンス文化芸術に触れて学ぶ事で、楽しさや健康、生きる活力に繋がると信じ、それぞれジャンルの違うダンスを多くの皆さんに知って頂きたく活動しています。わたくしたちの仲間になってダンスの輪を広げましょう。



展示

展示部門は、絵画、盆栽、書道、陶芸、写真、俳句、川柳、茶道、華道と多種多様です。文化芸術祭には日ごろの活動の成果である多くの作品が展示されました。お茶会では内野市長さんも一服を楽しんでおられます。



令和4～6年度活動

みんなの夏まつり



小さな芸術鑑賞会

ふだん文化芸術に触れる機会のない方も気軽に触れる機会を作ることを趣旨として、令和5年度から市と共同主催で年4回実施しています。



凧揚げまつり 竹と和紙を使った伝統的な和凧を自ら作り上げ、1月に凧揚げを実施。令和7年240名参加。



親子ふれあい将棋教室・名人戦

海老名市出身の北浜棋士やリコー将棋部の協力を得て開催。



伝統文化子ども教室

子ども達が日本の誇る伝統文化の体験により、親しみを持ち、次代への継承を願い教室を開設。令和6年度は茶道と日本舞踊。令和7年度は9教室へ。期待と希望の船出！



編集後記



最初は計画どおりに発行できるか不安でしたが、広報分科会委員、海老名市文化スポーツ課の協力により、スムーズにまとめることができました。私は音楽部門所属ですが、編集作業を通して洋舞・邦舞・展示部門・他の活動も幅広く、多彩であることが分かりました。

市民の方々も「文芸協だより」をご覧になり、支援・活動にご参加下さると嬉しいです。 S.S